

# 働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守ろう！



「ノルマニヤー」が開催された。日比谷公園野外音楽堂で開催された。なお同日には代々木公園でも第93回中央メーデーが開催された。

中小民間労組懇談会代表の平賀さんによる開会宣言で始まり、主催者を代表し國労東京地本委員長の鎌田から、ロシアによるウクライナ侵略を糾弾した上で、岸田政権や自民党、維新などが便乗して改憲・軍拡の扇動に乗り出していることに危機感を訴えた。さらにコロナによる貧困と格差拡大の中で、労働者の権利の確立と差別の根絶の要求を軸に労働者の連帯した闘いで挑み、人権尊重の社会を作り上げようと呼び掛けた。

来賓としてあいさつをした社民党中央委員会議員の福島みづほ代表は、まず社会の劣化は政治が作ったと端的に指摘し、諸制度を変えていこうと呼び掛けた。さらにに戦争をしないことが政治の重要な役割、民主主義が脆弱な時に戦争が始まる、だからこそ民主主義を強化し、その力で戦争を止めようと明快に訴えた。

式典後、日比谷公園霞門から新橋「土橋」までデモ行進を行い、コロナ解雇を許すな！雇用の継続と休業・生活補償の充実を！8時間働けば暮らせる社会を！等々を沿道の人々に訴えた。

★ サブスローガン ★

「口ナ解雇を許すな！ 雇用の継続と休業・生活補償の充実を！

ジョンダー平等！ なくせ 貧困・格差・差別、8時間働けば暮らせん社会を！

福島原発事故を忘れない！ 原発ゼロ社会・復興の実現を！ 核兵器廃絶！

反戦平和！ 9条改憲反対！ 辺野古新基地建設阻止！ 岸田政権は退陣を！

★ サブスローガン ★

荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 鎌田博一  
編集責任者 地口明世

No.1864  
2022年  
6月16日

# 国労加入を 大胆に訴えよう



4月内外の動向

JR各社で入社式が行われた  
東日本採用者は700名

JR東日本は、駅バリアフリー設備の整備費用を現行運賃に転嫁するための申請を国土交通省関東運輸局に行なつたと発表した。

JR東日本と京王電鉄（京王）は新宿駅西南口地区の開発計画について概要を明らかにした。

JR東日本は、福島県沖地震の影響により最後まで不通となっている福島～仙台間の新幹線の運転を再開した。

JR東日本は、組織改正を実施すると発表した。

それに本部を設置し支社の業務を一部  
移管。現行の東京支社は「首都圏本部」となる。

4月25日

死者117名、負傷者562名に及ぶ未曾有の大惨事となつたJR福知山線脱線事故から17年を迎えた4月25日に、今年も国労は「4・25安全行動日」として全国で宣传行動を展開した。

4月26日

普通回数乗車券の発売を9月30日限りで終了すると発表した。JR東日本では、在来線を同

一回乗車料金で同1ヶ月間に10回利用するときの運賃  
1回分相当 月11回以上の利用で1回ごとに  
運賃10%相当のJRE ポイントを付与する  
リピートポイントサービスを実施しているが、  
この普及が進んだとして、自社エリア相互間の  
普通回数券全廢に 踏み切ることになった。



## 5・3憲法第集会 平和といのちと

5月3日11時～東京・有明防災公園において、「平和といのちと人権を！」5・3憲法集会実行委員会が主催する2022憲法大集会が行われた。

日本国憲法施行から75年を迎えた憲法記念日の3日は1万5000人が参加した。

ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、日本においても侵略の危機意識をあおり、防衛費の増額を謳い、いまや「憲法9条」は戦後最大の危機に面している。

主催者を代表して平和団体代表の藤本泰成さんは「敵基地攻撃能力や核保有で国民の命を守れるのか」「国民の生活を圧迫し、平和が壊れるだけ」と批判した。さうこ

集会後、「憲法を守れ」のシユプレヒコ  
呼びかけた。

憲法審査会の傍聴を続ける大江京子弁護士  
は「市民の尊い犠牲の末、戦争の慘禍を起  
させないと誓い、日本国憲法を定めた。  
この決意を捨てさつて良いわけがない」と

ールを上げながらデモ行進を行つた。

EF64 I  
22年

とりわけ、3年目となるコロナ禍においては、少子高齢化による人口減に加えて人の移動が大幅に制限され運輸収入の減少が常態化するなど、JR各社の経営にも大きな影響が拡がっている。

いうまでもなく、安全・安定輸送の確立と持続可能な鉄道ネットワークの維持・存続は車の両輪ともいうべき不可分の課題である。

こうしたなか、去る2月14日国土交通省は、地域公共交通の維持に向けた施策を検討す

る有識者会議を設置し、鉄道事業者と沿線の関係者が協働して不採算路線の持続性を高める取り組みを促すため、BRT（バス高速輸送システム）や次世代型路面電車（LRT）など新たな形態への移行も有効な手段として対策を議論し、今夏にも提言をまとめることを明らかにしている。

未曾有の大事故となつた原因は利益を優先させた運転本数の増加とスピードアップによる労働環境の悪化、さらにミスを懲罰的な日勤教育とし精神的に追い詰めた社員管理が大きく影響している。

国労は「4・25安全行動日」として全国で宣伝行動を展開してきた。

また東京支部は組合員が池袋駅でチラシを配布しながら宣伝行動を取り組んできた。

4·25  
安全行動日



# がん治療を幅広く まとめて保障するがん保険

\NEW/

アフラックの  
**生きるためのがん保険**  
**ALL-in**

No.1 がん保険  
がん治療保険  
保有契約件数  
過去3年間  
アフラック・アンクス生命保険会社  
の4位  
※は世界標準  
の「がん治療保険」  
の導入  
(詳細はホームページをご確認ください)

「生きるためのがん保険Days1 ALL-in」は、がんに関する治療費に加え、  
治療関連費も幅広くまとめて保障する保険です(所定の支払事由に該当する必要があります)。

■募集代理店(マコローズ)は代理店制度を採用しております

《引受保険会社》